

若松地区



石炭積み出し港の『若松石炭会館』

明治 38 年に建てられた当時の最新式“洋風建築”木造 2 階建。レンガ造りの華やかな外観、平坦な壁面に目地を多用し石造風の表情が与えられている。若松石炭商同業組合の事務所として建設された“石炭積み出し港若松の歴史”を象徴する建物です。ライトアップされた夜はいっそう美しい。

<http://gipsypapa.exblog.jp/20346773/>



赤煉瓦造りでルネサンス様式を基調とした『旧古河鋳業若松ビル』

旧古河鋳業若松ビルは、大正 8 年に造られたレンガ造りの洋風建築。当時、石炭の積出港として栄えていた若松の歴史を今に伝える貴重な建物で、近代的なオフィス街の象徴的な存在です。その華やかな外観と近代建築の魅力を凝縮した美しいなめらかな漆喰の壁とが見事に調和がいい。

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/02100280.html>



煉瓦造の重厚な外観。『上野ビル（旧三菱合資会社若松支店）』

北九州市若松区の海岸通りに建つ上野海運ビルは、旧三菱合資会社若松支店として大正2年に建設され、若松バンド（海岸通り・船着場）の中心的な存在でした。一世紀もの年月を経て、今日まで生き抜いてきたビルです。本館は左右対称の立面構成で、縦長窓を規則的に配した煉瓦造の重厚な外観をなし、対照的に内部は中央を広い吹き抜けとし、装飾付の手摺やステンドグラスを用いて華やかな雰囲気を出している

<http://ueno-building.com/>



若松で最初に水洗トイレが設置された『朽木ビル』

上野海運ビルと共に、現役で頑張っている大正生まれの造船と船舶代理業を行う朽木商事の本社ビル。大正9年竣工の鉄筋コンクリート造3階建です。若松で最初に水洗トイレが設置されたそうです。当時としては珍しい半地下室、自家用浄化槽等を備える朽木造船所(朽木商事)のビルでした。戦後九州造船となりました。

<https://blogs.yahoo.co.jp/hsnm3373/31847072.html>



明治、大正期からの営業の『料亭金鍋本館、表門』

経済人や文化人が集った場所として広く知られる大正6年竣工の料亭。港湾と鉄道整備に伴って拡大した若松の市街地において、明治、大正期から営業していた多くの料亭の中でも著名な店の一つです。

本館は珍しい数寄屋風の3階建てで、重厚な黒漆喰の外観と一部に洋風の意匠を用いた建物。表門は角柱を立て、腕木、軒桁、垂木に丸太を用い、ガラス欄間を嵌め込むなど、近代的な数寄屋風の意匠です。

<https://gipsypapa.exblog.jp/20325213/>

